

1999年（平成11年）

- ・第1回札幌くらぶコンサート開催
- ・楽員・スタッフが初の懇談
- ・戸沢宗雄氏ご逝去
- ・2回目の練習見学会実施
- ・尾高さんと札幌くらぶコンサート実行委員会が初会合

札幌くらぶコンサート始まる

札幌くらぶ発足以来最大の事業となる自主公演第1回札幌くらぶコンサートが、4月17日にキタラ大ホールで開催されました。

この日に向けて、コンサート実行委員会を組織し、約20名のスタッフが6回の会合を重ね、プログラムや指揮者の選定を札幌事務局と協議したり、チケットの販売方法や高校生の招待や当日の役割分担の確認など様々なことについて話し合い・確認が行われました。更には、チケットの売れ行きなどの集計作業は週1回行われ、スタッフ全員が自分の仕事の合間を縫っての、まさに献身的な作業となりました。

幾多の困難を克服して開催された第1回のコンサートは、指揮者に広島交響楽団正指揮者を務める渡邊一正さん、司会進行を会員の竹津宜男さんとUHBアナウンサー（現日本テレビアナウンサー）丸岡いずみさんをお願いし、和やかに、華々しく行われました。



第1回札幌くらぶコンサート

内容は2部構成で、1部は誰でもが知っている曲とし、スッペの「軽騎兵」序曲に始まり、チャイコフスキーのバレエ組曲「白鳥の湖」「くるみ割り人形」から数曲ずつが演奏されました。2部では、ヨハン・シュトラウスの「常動曲」が演奏された後、コンサート最大の呼び物「指揮者体験コーナー」行われました。子どもは「カルメン」のトレアドール、大人はハンガリー舞曲5番に挑戦しました。

締めくくりには宮川彬良さんから提供を受けた音楽物語「アリとキリギリス」が丸岡さんのナレーションで演奏され、大喝采のなかコンサートは終了しました。

コンサート終了後、指揮者や司会者も招いて、会員と楽員による打ち上げの交流会がキタラ3階の大リハーサル室で盛大に行われました。これは以後の札幌くらぶコンサートの恒例行事となりました。

楽員・くらぶスタッフ初の懇談会

かねてから、札幌くらぶと楽員が直接意見交換する場を設定したい、という希望がありました。なかなか実現しませんでした。8月25日に初の懇談会が行われました。

場所は教育文化会館会議室で、楽員さんは夏休み中であつたにもかかわらず楽員の真貝裕司、物部憲一、大垣内英伸の三氏が出席して下さいました。話し合いの柱は、「札幌くらぶと楽員の関係をどう発展させていくか」「第2回札幌くらぶコンサートについて」の2点でした。

くらぶ、楽員双方から忌憚のない意見が出され、今後の関係については大垣内さんを窓口にして一層の相互理解を深めていく、ということで意見一致を見ました。また、札幌くらぶコンサートについても「小ホールを使つてのアットホームなコンサートの方が良いのでは」など、様々な意見がありました。が、せっかくフル・オーケで始まったのだから今のやり方を続けていこう、ということで結論が出ました。

戸沢宗雄氏ご逝去

8月26日にファゴット奏者戸沢宗雄氏が自宅のある函館で逝去されました。

戸沢氏はNHK交響楽団の首席奏者を務めるなど、ファゴット奏者として我が国の第一人者でした。1961年の札幌発足時に、プロのオーケストラのプレーヤーはいかにあるべきかを楽員に指導すべく、乞われて札幌に入団されました。入団後は、世界中のオーケストラに例のない「コンサート・リーダー」に就任され、札幌の基礎がために多大な貢献をされました。古くからの札幌ファンには強烈な印象を残され、札幌退団後はファンから「やはり戸沢さんがいないと」という声がよく聞かれました。札幌にとっては巨大なファウンダーだったと言って良いでしょう。

尾高さんで練習見学会

前年の1回目につき、2回目の練習見学会が11月3日文化の日に行われました。会場は前回と同じ芸術の森アートホール。前年の5月から札幌のミュージック・アドバイザー兼常任指揮者に就任した尾高忠明さんの指揮ということで、好天のなか約70人の会員が参加しました。

2日後の定期演奏会に向けての練習で、見学した時の練習曲はメシヤンの「キリストの昇天」。午後2時から約1時間の見学予定でした。

楽員さん達が思い思いに練習する姿を、参加者が緊張して見つめるなか、Tシャツにジーンズという軽装で尾高さんが登場。会場は一瞬緊張に包まれました。



芸術の森アートホールでの練習

練習の前半は管楽器と打楽器のみの練習。後半は弦楽器も加わり、フル・オーケストラでの練習。なるほど、プロの練習とはこういうものなのだ、と納得させられるような迫力満点の練習ぶりでした。

見学会終了後、アートホールの会議室で札幌くらぶコンサート実行委員会と、第2回コンサートで指揮をしていただくことになっている尾高さんとの話し合いが行われました。

前回の聴衆へのアンケートで最も希望が多かった「ボレロ」をメインとすること、尾高さんのお話で進行することなどが話し合われました。

◎この年「札幌くらぶ」に登場した人
山下一史（九響常任）
渡邊一正（広響正指揮者）
館野 泉（ピアニスト）
小泉和裕（都響首席客演）
岩崎弘昌（Ob）、桜庭茂樹（Vc）
高橋 敏（Fg）、斎藤正樹（Cb）
多賀 登（Cl）、荒木聖子（Va）
橋本 敦（Hn）、角野友則（Vc）